

るといふ大変不幸な出来事が続いている。宿毛市における下水道対策の現状はどのようなになっているのか問う。

答 現状は幹線管路の約36%の耐震化がなされている。被災後の早期の復旧を目指し、高知県及び県内各市町村、下水道事業団等と災害時の支援協定を締結しているが、管路の耐震化等は取り組んでいない。

問 現地の液状化の被害は大きいものがあるが、市長として液状化の問題をどう捉えているのか問う。

答 宿毛市では西部や市街地をはじめ高砂等が液状化する可能性が高いと予測されている。根本的な液状化対策は、土地の地盤改良が必要となるが、実際には困難であると考えられている。今後関係機関とも協議しながら調査研究をしていきたい。

保育行政について

問 政府は職員配置基準を見直し、3歳児においては現在

の20人に対して1人の職員配置から今後は15人に対して1人の職員配置へ変更となるが、宿毛市はいつからこの方針に変更しようと考えているのか問う。

答 宿毛市は令和6年度から政府が示した新しい職員配置基準に基づき、職員配置をしていく。

問 津波浸水域にある保育園の対策についてはどのように考えているのか。

答 施設の高層化の検討や避難訓練の実施等をしている。

問 避難訓練等だけでなく、幼児園児の生命を守るとの観点に立ち、具体的な対策を問う。

答 幼い子供の命を守るとの考えから、今後は徹底した取り組みを進めながら保育園の高層化や施設の移転を含め協議していきたい。

宿毛湾港の重要拠点化について

問 1673名の方々が反対

をしている。本当に大丈夫なのか。日本の平和に対する挑戦ではないか、市民に情報を開示すべきだ。

答 災害支援の観点からも平時の港湾の活用をしていくことは非常に大切な事である。現時点で市民が不安を抱く内容は無い。



川田 栄子 議員

マイナンバーカードの制度関連について

問 災害時、通信回線が使用不能になって、オンライン資格確認が利用できない場合について問う。

答 医療機関のオンライン資格確認システムが使用できない場合は、加入する医療保険の名称等の必要事項を記入した申立書や、スマホにダウンロードした医療保険の資格情報を窓口に表示する事で医療

保険資格を確認できる。健康保険証の代わりに短期被保険者証や医療費を全額一旦窓口で支払いを求められる資格証明書が交付される。オンライン資格確認は、資格証明書交付を容易化することで受診抑制を促すといくつも報告がある。市民の命を守る立場から見解を問う。

新型コロナウイルス関連について

問 コロナワクチンには免疫抑制剤が入っているため症状が無くて突然亡くなる事が多いと言われている。急に死亡された場合、予防接種健康被害救済制度を使うことができるか。

答 接種後に死亡された場合、配偶者、同一生計のご遺族、葬祭を行った方が申請できる。

問 新型コロナウイルスと他のワクチンの間隔は2週間と言われている。厚労省ワクチン分科会議事録によると同時打ちが検討されている。多くの専門家が危険と言っている。状況を問う。

答 6年度の定期接種への導入に際し、接種間隔の制限を設けないとする案が検討されていると承知しているが現在のところ、同時接種の通知は無い。

給食費無料化について

問 税金、保険料も上がって、